

兵庫県 改革方針

令和6年度版



兵庫県は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

「躍動する兵庫」へ

イノベーション型の行財政運営を目指し、新たな改革に挑戦

HYOGO VISION 2050

兵庫県のめざす姿

誰もが希望を持って生きられる 一人ひとりの可能性が広がる
『躍動する兵庫』



県政改革方針

「躍動する兵庫」の実現に向けて

行財政全般にわたる改革を推進し、
持続可能な行財政基盤を確立していく

県政改革方針
策定の趣旨

県政改革方針 基本方針

① 躍動する兵庫の実現

3つの基本姿勢

オープンな
県政の推進

誰も取り残さない
県政の推進

県民ボトムアップ型
県政の推進

② 持続可能な行財政基盤の確立

改革の着実な推進により収支均衡と将来負担の軽減を図りつつ、時代の変化に的確に対応できる持続可能な行財政基盤を確立する。

③ イノベーション型行財政運営の実現

職員一人ひとりから自律的・多発的に業務の創意工夫や変革の提案がなされる県政実現をする。

- 「ビルド」を重視した行財政運営
- 成果を重視した施策立案の導入
- 透明性向上のための外部評価の積極的活用

財政フレーム

- ・令和10年度までに215億円の収支不足が生じる可能性
- ・令和7年度には地方債協議制度における許可団体に移行する見込み

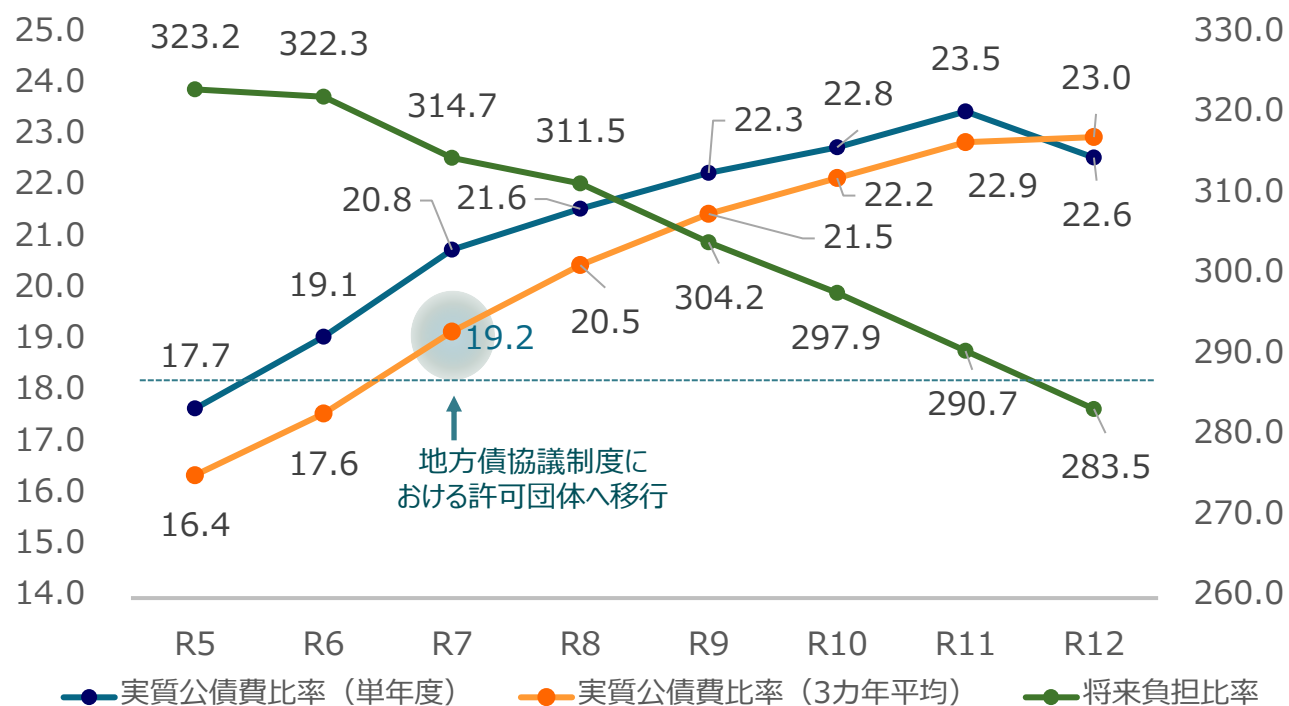
令和10年度までの財政収支見通し

- 収支不足総額 △215億円【令和7～10年度総額】
- 実質公債費比率 22.2%【令和10年度】
(3か年平均)
- 将来負担比率 297.9%【令和10年度】
- 経常収支比率 97.5%【令和10年度】

【参考】令和5・6年度の状況

	R5決算(見込)	R6当初
収支	0億円	0億円
実質公債費比率	17.7%	19.1%
3か年平均	16.4%	17.6%
将来負担比率	323.2%	322.3%
経常収支比率	97.2%	99.4%

実質公債費比率・将来負担比率の推移



更なる税収確保や自主財源の獲得、より効果的、効率的な事業展開など歳入歳出両面における改善を図るとともに、地方財政制度の活用により、**毎年度の収支均衡を目指す**

財政運営目標

区分	令和10年度までの目標	最終目標
収支	収支均衡を目指す	収支均衡
実質公債費比率 (単年度・3か年平均)	21%程度	早期健全化基準(25%)内を堅持しつつ、 18%未満を目指す
将来負担比率	305%程度	早期健全化基準(400%)内を堅持しつつ、 280%未満を目指す
経常収支比率	100%未満を維持	100%未満を維持

事務事業について、**ビルドを重視した見直し**を実施

事務事業

限られた財源で最大の効果が得られるよう、事業のスクラップ・アンド・ビルトなど、「選択と集中」を徹底

政策的経費

時代の変化や国の制度改革、県と市町の役割分担等の視点を踏まえた見直しを徹底しつつ、各種事業を推進

新規施策の 展開

地域創生戦略をはじめ各分野計画の具体化を図り、コロナからの創造的復興をめざし躍動する兵庫の実現にむけた施策を積極的に展開

投資水準の見直しや収入確保に取り組むことで、持続可能な行財政基盤の確立を目指す

投資事業

01

- 地方財政計画の水準を基本とした事業費を設定
- 災害復旧事業については、必要額を別途措置
- 大型投資事業については、将来的な財政負担も考慮のうえ、事業計画等について個別に検討

民間活力の活用

02

- 指定管理施設における指定管理者の原則公募化
- 施設整備(新設・建替・大規模改修)について、民間資金や経営能力、技術的能力等のノウハウを活用して事業を行うPFI手法等を優先的に検討

収入確保

03

- 県財政の歳入の基盤となる県政収入の確保を推進
- 新たな歳入確保対策
 - ・ ふるさと納税による寄附獲得を推進
 - ・ 企画提案型ネーミングライツやイベント冠スポンサーの導入等新たな取り組みを実施

歳入確保の取組例

ひょうごふるさと寄付金HP

兵庫県のふるさと納税「ふるさとひょうご寄付金」

ふるさと兵庫を応援したい、ふるさと兵庫に貢献したい、という方々からの寄附金です。

個人の方からの寄附については、お住まいの自治体に納める住民税などから一定の上限まで控除されます。

皆さまからの応援をよろしく申し上げます。



兵庫県SDGs債の発行

兵庫県 | 兵庫県SDGs債 (グリーンボンド) のご案内

自治体初の5・10年2本建てのグリーンボンドを発行します

2050年の兵庫の姿 誰もが希望を持って生きられる「(画) 一人ひとりの可能性が広がる(画)」

【躍動する兵庫】(画)

5つの目標とする社会

- I 分け合ひし生きられる社会
- II 新しいことに挑戦できる社会
- III 誰も取り残されない社会
- IV 自立した経済が豊く社会
- V 生命の持続を先導する社会

● 兵庫県では、社会が大きく変化し、コロナ禍で様々な課題が浮き彫りとなる中で、県民が共に目指す姿を描く新しい将来ビジョン「ひょうごビジョン2050」を2022年3月に策定しました

● ビジョンでは、2050年の兵庫の姿を「誰もが希望を持って生きられる、一人ひとりの可能性が広がる『躍動する兵庫』」と位置づけ、「誰一人取り残さない」という国連の掲げるSDGs(持続可能な開発目標)の理念も目指す社会へ取り入れながら、取組を進めています

● こうした取組の一環として、グリーン化を推進する本県の施策を広くPRし、一層の機運醸成や施策の推進を図るとともに、県債の購入を通じて投資家の皆様への参画を推進するため、令和4年度の本県初のSDGs債(グリーンボンド)に続き、今年度も継続発行します

ボトムアップ型県政実現に向けた組織体制を構築

01 本庁

- 12部体制を基本に、政策課題への的確な対応や、所掌範囲と所在の明確化、施策の効果的かつ効率的な執行を図る

本庁12部	
総務部	企画部
財務部	県民生活部
危機管理部	福祉部
保健医療部	産業労働部
農林水産部	環境部
土木部	まちづくり部

02 県民局・県民センター

- 現地解決型の総合事務所として、地域課題に総合的かつ的確に対応



新しい働き方の推進

方針 改革

新しい働き方推進プランに基づく取組を推進し、**県庁の組織パフォーマンスの最大化**を図り、**県民本位で質の高い行政サービスを実現**

1

柔軟で多様な働き方の推進

テレワークや時差出勤・フレックスタイム制の更なる活用を進め、職員一人ひとりのライフスタイルに応じた柔軟で多様な働き方により、効率的・効果的な行政運営を推進

2

休暇・休業制度の活用促進

年次休暇や育児休業など休暇・休業制度の活用を促進し、職員の健康増進や育児・介護等と仕事の両立を支援するとともに、男女がともに活躍できる職場づくりを推進

3

超過勤務の縮減

適切な労働時間の管理や業務の効率化等により超過勤務を縮減し、生み出した時間を活用して企画・立案など創造的な業務の充実や職員のワークライフバランスの向上を図る

4

ICTを活用した業務改革の推進

電子決裁の徹底や行政手続のオンライン化等、ICT を最大限生かして業務のペーパーレス化や行政手続の簡素化を促進し、県民等の利便性向上と職員の業務効率化を推進

5

職員の意識改革・職場風土の醸成

幹部職員による率先行動や職員研修等を通じて、職員の意識改革や職場風土の醸成を進め、全庁が一丸となって新しい働き方を推進

新しい働き方
推進プラン

新たな人材育成に関する基本方針を策定し、「求められる職員像」を定めるとともに、その実現に向け、採用、育成、配置、評価、処遇といった**人事施策全般を通じた総合的な人材育成に取り組む**



優秀で多様な人材の確保

採用試験の見直し、採用広報活動の強化
民間人材の県政への参画を積極的に促進



職員の能力向上

効果的なOJT、職員の能力向上に配慮したジョブローテーションの実施
民間企業等との人事交流を積極的に推進



職員の意欲と適性を踏まえた人事配置

職員の自律的なキャリアビジョンを踏まえた人事配置の推進
専門的業務分野でのスペシャリスト育成に向けた人事配置の推進



職員の挑戦と成長を促す人事評価・女性活躍の推進

職員の更なる成長とパフォーマンス向上に繋がる人事評価の導入
女性職員のキャリア形成の支援、積極的な登用

01 ひょうご事業改善レビューの実施

- 「イノベーション型行財政運営」の実現を目指す取組の一環として、ひょうご事業改善レビューを実施



02 県政改革方針の見直し

- 県政改革方針の見直しにあたっては、県議会、市町、関係団体、その他広く県民に対して、丁寧な説明を行い、幅広い意見を取り入れながら、**不断の改革に取り組む。**

「個」の可能性を拡げることにより、地域の持続可能性を高める 兵庫の新たなステージへ

I 若者・Z世代が輝く 兵庫

- 学びやすい兵庫
 - ・高等教育の負担軽減
 - ・HYOGOグローバルリーダー育成プロジェクトの推進
 - ・県立学校の教育環境の整備
- 子どもを産み育てやすい兵庫
 - ・不妊治療支援の強化
 - ・不登校・ひきこもり対策の強化
 - ・ケアバー・ヤングケアラー支援の拡充
- 住みやすい兵庫
 - ・安心して子育てができる住宅・住環境の確保
- 働きやすい兵庫
 - ・奨学金返済支援制度の拡充
 - ・ミモザ企業認定制度の推進

等

II 活躍の場が広がる 兵庫

- 2025大阪・関西万博に向けた取組の加速
 - ・フィールドパビリオンのプロモーション
 - ・フェニックス事業用地の賑わいづくり
 - ・ユニバーサルツーリズムの取組拡大
- スポーツ・芸術文化の振興
 - ・HYOGOスポーツの新展開
 - ・Z世代の芸術文化活動支援
- 産業競争力の強化
 - ・次世代成長産業の社会実装の支援(水素・空飛ぶクルマ)
 - ・SDGsの取組の発信強化
 - ・有機農業の担い手育成(有機農業アカデミー(仮称)の設置 等)
- 高規格道路ネットワークの整備

等

III 安全安心に包まれる 兵庫

- 高齢者の安全安心対策
 - ・特殊詐欺被害対策の推進
- 1人1人が尊重される社会づくり
 - ・パートナーシップ制度の推進
 - ・SNS誹謗中傷等対策の推進
- 医療の充実
 - ・医師の働き方改革の推進
 - ・新興感染症対策の強化
- 防災・減災対策の推進
 - ・阪神・淡路大震災30年事業の推進
 - ・県土強靱化対策の推進
 - ・能登半島地震を踏まえた災害対応の充実強化

等

IV 県政改革の推進

- 新しい働き方改革の推進 等

ピックアップ SDGsの推進

兵庫県では、誰もが希望をもって生きることのできる社会を次の世代に届けるべく、企業や団体、教育機関、県民等とともにSDGsを推進しています！

ひょうごフィールドパビリオン

▶▶公式サイトはこちら！

「大阪・関西万博」を機に、県全体をパビリオンに見立て、地域の主体的な活動の現場に国内外から多くの人を誘い、兵庫ならではのSDGsな取組を見て、学び、体験していただく、「ひょうごフィールドパビリオン」を全県で展開します。



ひょうごフィールドパビリオン

Our Field, Our SDGs
私たちのフィールド、私たちのSDGs

+ さらに



県内の企業や団体など、多様な主体が連携し、社会的課題の解決と地域活性化の両立を図る公民連携組織として、ひょうごSDGs Hubを設置しています。▶▶公式サイトはこちら！

▶▶公式サイトはこちら！

ひょうご産業SDGs推進宣言事業・認証事業

企業によるSDGsの取組は、優秀な人材確保の鍵となるのみならず、新たなビジネス機会の拡大に繋がること等が期待できます。そこで、中小企業の経営にSDGsの導入を促進する、「ひょうご産業SDGs推進宣言事業」、更なるステップアップとして「ひょうご産業SDGs認証事業」を実施しています。SDGsの取組の裾野を拡大し、SDGs先進県を目指しています。

SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業

令和5年度、内閣府が推進する「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に兵庫県が選定されました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

